



# きょうも元気に!

日本共産党 京都市会議員

# 河合ようこです。

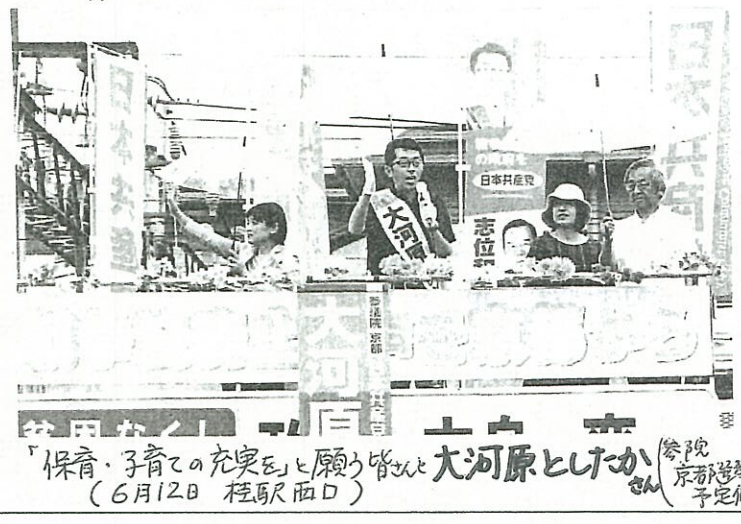
NO.234

2016年6月19日  
日本共産党西地区委員会  
311-4704  
西京生活相談所  
392-3546  
ホームページ  
<http://kawai-yoko.jp/>

## 《活動報告News》

#  
ふつうに働き、ふつうに暮らす社会を!

安倍政権の暴走を止める絶好のチャンスは6月22日公示されます。参院選は6月22日公示されます。野党4党の共同は、参院選挙区定数一の全て(32選挙区)で、統一候補を擁立することができました。定数2の京都では、39歳の弁護士・大河原としたかさんを必ず国会に送ろう!と期待が広がっています。ふつうに働き、ふつうに暮らせる社会を訴える大河原さんの話に「ほんまにそうや」と共感します。日本共産党と大河原としたかさんの政策と魅力を一々でも多くのの人に知らせて、政治の流れを大きく変えたい。力を合わせましょう。



### 介護の充実を。

介護事業者アンケート結果を公表、日本共産党市議団が京都市に申し入れ



市内の訪問介護事業所と通所介護事業所690か所に「介護予防日常生活支援事業(京都市は来年4月発着)について」アンケートを届け、104事業所から回答をいただきました。この結果に基づいて、党議員団は、6月13日、京都市に対して、介護報酬の引上げを国に要望することなど、介護保険制度の後退を許さず、市独自のとりくみを充実させるように5項目の申し入れを行いました。

### 5月市会報告(続報)

5月市会では5/20まで開かれました。党議員が消費税増税中止、「原発からの脱却」、安保法制反対を国に求めるべきと市長に質しましたが、「消費税率引上げは社会保障財源の安定確保のため」と答え、安保法制や原発については、国に声をあげていく姿勢は全くありませんでした。終了本会議では、「骨髄移植ドナーに対する支援の充実に関する意見書」など3つの意見書と「焼却灰溶融施設の損害賠償請求訴訟」の判決に関する決議が全会一致で採択されました。・教育福祉委員会で、私は、「ライオン」の閉店についての地元の利用者の声を紹介し、高齢者にとつての買い物の役割が大きいこと、買い物に困ることがないよう、実態把握と対策を求めました。



「ライオン」前では「買い物難民」をなくすための署名に協力者が続々と

### お知らせ

夏季特別生活資金貸付  
生活相談 7/2、7/5  
9時~11時半、13時~15時  
資金貸付: 7月27日(水)  
貸付内容: 一世帯15万円  
(一人3万円が目安)  
・無利子、無担保、保証人不要  
・償還は2年以内  
申請に必要なもの:  
印かん、住所と家族構成がわかるもの  
※貸付を受けられない場合もあります。  
詳しくは、西京区役所福祉部  
(でんわ三三三-七六四)福祉介護課  
又は、西京支所福祉部  
(でんわ三三三-一九九)福祉介護課

水色のピラ(下記のの)手元にある方はぜひアンケートにご協力下さい。



おわびとご案内  
No.233号のニュースの「つぶやき」欄の思いやり予算が始まった年は、1987年ではなく、1978年でした。おわびして訂正いたします。また、6月18日に「思いやり」を見逃がしたという方が

6月29日(木)午後2時~新林会館での上映会もありますよ。